

令和5年度 高根沢町教育委員会（8月）会議録

<p>会議の日時</p>	<p>令和5年8月23日（水） 開会 午後3時00分 閉会 午後5時40分</p>	<p>場 所</p>	<p>高根沢町農村環境改善センター 2階 研修室</p>
<p>教育長及び 出席委員の 氏 名</p>	<p>(教育長) 坂 本 美知夫 (委 員) 野 中 直 子 中 野 謙 作 齋 藤 君 世 佐 藤 豪 男</p>	<p>説明員及び 書記氏名</p>	<p>(学校教育課) 学校給食センター所長 林 博 志 課長補佐 小 林 賢 治 課長補佐兼管理主事兼指導主事 今 平 紀 章 課長補佐兼指導主事 平 山 勇 輔 主任主事（書記） 穠 本 詩 音 (こどもみらい課) 課 長 田 中 圭 子 課長補佐 鈴 木 郁 子 (生涯学習課) 課 長 片 野 秀 光 課長補佐 赤 羽 康 弘 係長兼指導主事 齋 藤 洋 一</p>
<p>欠席委員の 氏 名</p>			
<p>会 議 事 項</p>			
<p>(1) 報告事項</p> <p>① 令和5年度高根沢町教育委員会点検・評価報告書について</p> <p>② 令和5年度就学援助の認定及び取消しについて</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>① 新庁舎整備、公共施設整備等の検討状況について</p> <p>(3) その他</p> <p>① 令和5年度とちぎっ子学習状況調査及び全国学力・学習状況調査における高根沢町の結果について</p>			

議 事 の 経 過

坂本教育長	<p>出席は4名で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項による半数以上の出席を得ているため、教育委員会を開催します。</p> <p>(あいさつ)</p> <p>議事に入る前に、前回の教育委員会の会議録を承認してよろしいか諮ります。</p>
委 員	(異議なし)
坂本教育長	<p>異議なしと認め、高根沢町教育委員会(7月)会議録を承認します。また、本日(8月)の会議録署名人に齋藤委員を指名します。書記については、学校教育課の穠本主任主事を指名します。</p> <p>議事に入ります。報告事項①令和5年度高根沢町教育委員会点検・評価報告書について事務局から説明をお願いします。</p>
小林課長補佐	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、前年度の教育委員会の施策全般について点検・評価を行う。 ・令和5年8月7日に委員による点検・評価が実施された。 ・点検の結果、学校教育課・生涯学習課・こどもみらい課全ての課において、A評価(特に良好)をいただいた。
坂本教育長	委員から質問等がありますか。
齋藤委員	児童福祉施設の遊具類は、有資格者が点検しているのか。
田中課長	専門業者へ委託しています。
坂本教育長	他に質問等がなければ、 報告事項① について承認してよろしいですか。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	<p>報告事項①令和5年度高根沢町教育委員会点検・評価報告書について承認します。</p> <p>続いて、報告事項②令和5年度就学援助の認定及び取消しについてですが、個人情報が含まれるため、非公開としてよろしいか諮ります。</p>
委 員	(異議なし)
坂本教育長	異議なしのため、 報告事項② について非公開とします。
小林課長補佐	<p>(非公開)</p> <p>報告事項②令和5年度就学援助の認定及び取消しについて → 承認</p>
坂本教育長	<p>非公開を解除します。</p> <p>それでは、続いて協議事項①新庁舎整備、公共施設整備等の検討状況についてです。</p> <p>現在町が進めている新庁舎整備の検討、それに伴う公共施設全体の整理については、教育委員会の所管する学校教育施設、社会教育施設、児童福祉施設等にも大きく関連しています。本日は、このテーマでご協議いただき、教育委員会としての</p>

議 事 の 経 過

	<p>「公共施設に対する考え」をとりまとめ、9月の総合教育会議において提示していきたいと思えます。特に、学校規模適正化の中で検討している「学校の統廃合」については、教育委員会としての考えや方向性を明確にしていく必要があります。それでは、それぞれ3つの課の所管施設ごとに、事務局から説明、協議という順番で進めていきます。</p> <p>はじめに、新庁舎整備、公共施設全体の検討状況についてと、続けて学校教育施設の検討状況について、学校教育課から説明をお願いします。</p>
<p>小林課長補佐</p>	<p>【説明要旨】</p> <p>(町の取組状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町新庁舎整備の進捗状況については、令和5年3月に基本構想が策定され、現在、基本計画の策定中である。 ・町全体の公共施設のうち、教育委員会部局の所管する割合が最も多く、延床面積で計73.4%を占めている。 <p>(学校教育施設の検討状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高根沢町学校施設長寿命化計画を令和3年4月に策定。この計画に沿って、今後、阿久津中学校の大規模改修工事を予定している。 ・学校規模適正化において、小規模小学校4校を1校に統合した場合には、答申書で示された「望ましい学校規模(1学級:20~30人、1学年2~3学級(小学校))」を満たすことや、既存の学校校舎を使って統廃合した場合には、4校から2校、2校から1校への段階的な統合が考えられる。
<p>坂本教育長</p>	<p>事務局からの説明が終わりました。学校教育施設については、基本計画の骨子案の策定に向けて、小規模小学校4校の統合・再編方法、将来的な中学校の統合について、ご質問、ご意見等を伺っていきます。</p>
<p>野中委員</p>	<p>中央小学校における阿中学区と北中学区の人数の比率はどのような状況か。仮に、中央小学校が、北小学校と阿久津小学校に分かれて統合した場合、クラス数が増えて、教室が不足することはないか。</p>
<p>小林課長補佐</p>	<p>例年、約2:1(阿久津中学校:北高根沢中学校)の人数比率です。中央小学校が、阿久津小学校と北小学校に分かれて統合した場合、両校ともに学級数は増えないというシミュレーション結果となっています。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>他市町の参考事例として、小学校4校と中学校を統廃合して学校を新たに整備した際に、地域のコミュニティ施設と統合し、地域の核となる施設として整備した事例があった。出入口を別にして、空き教室をICTで見える化し、空時間の調理室・図工室を住民が使用したり、図書館を学校図書室として児童生徒も使用したりするなど、地域コミュニティ機能と学校機能の両立のほか、地域住民と児童生徒が</p>

議 事 の 経 過

	<p>共存して活動することが、子どもたちの「社会に対する学び」につながっていく、とてもよい事例だと思うので、将来的に新たな学校を整備していく際や、空き教室等の活用を考える際には参考にしてほしい。</p>
野中委員	<p>現状の東小学校、阿久津小学校にも「地域開放スペース」があり、別々の出入口・セキュリティとなっているものの十分に活用されていないので、運用方法を整理し、地域で活用できるよう積極的に検討してほしい。また、将来的に新たな学校を整備していく際には、地域の図書館としての機能を持たせるなどの検討をしてほしい。</p>
佐藤委員	<p>これまでに企業誘致等により児童生徒数の増加した例はあるのか。また、推計には今後の宅地開発等による児童生徒数の増加は見込んでいないのか。</p>
小林課長補佐	<p>阿久津小学校から西小学校が分離して現在の小学校6校体制になった平成6年度以降、児童生徒総数は毎年度減少しており、増加したことはありません。また、推計資料では、開発等による増加は見込んでいません。</p>
野中委員	<p>中央小学校の校舎棟は築年数46年とのことだが、現状どれくらい老朽化しているのか。どの程度もつのか。</p>
小林課長補佐	<p>予防保全の考え方による大規模改修をしないまま46年経過していますので、老朽化は特に進んでおり、今後大規模な改修が必要な状況と認識しています。</p>
齋藤委員	<p>小規模小学校4校を1校に統合する場合、通学距離が遠くなる児童が多くなるため、スクールバスの送迎コストが増えることが課題になってくることと、もともと地元に住んでいる方が多い地区でもあり、4校を1校に統合するよりも、4校から2校に段階的に統合する方が、住民の方への衝撃（ショック、インパクト）のレベルが小さいと考えられるため、住民感情に配慮すべきと思う。2校を1校に統合していく最終的な段階においては、小中一貫校や中学校の統合、地域コミュニティ施設との統合・複合化などを検討し、町や地域のシンボルとなるような施設を作っていく流れとするのが、自然なのではないか。4校を1校にするのはシンプルで理想的だが、4校から2校に段階的に統合する方法がよいと考える。</p>
野中委員	<p>小規模小学校4校を1校に統合する場合、新たな統合校をどこに整備するのか、整備費用など、検討しなければならない大きな課題がある。4校を2校に段階的に統合した場合には、統合後に学級数が増えずに済み、教室を増やすなどの対応が特段必要ないということなので、2校への段階的統合がよいと考える。また、将来的に2校が1校に統合する際には、現在の東小学校に統合することも検討できると思う。例えば、新たな統合中学校1校への中学校統合と合わせて、北中校舎と東小校舎の両方を統合小学校として使用するなど、様々な検討ができると思う。</p>
齋藤委員	<p>児童生徒数の推移・推計については、「今後どれだけ人数が減っていくか」も大</p>

議 事 の 経 過

	<p>事だが、「これまでにどれだけ減ってきたか」を説明する方が、印象が違ってインパクトがあるのかもしれない。「かつてこれだけの人数がいたこと」が分かってもらえれば、「賑わいのある古き良き時代」に戻るという意味で、統廃合への理解も進むのではないかと感じた。</p>
坂本教育長	<p>それでは、続きまして、学校規模適正化に関する答申書の附帯意見である、通学の安全確保、少人数指導の充実について伺います。</p>
佐藤委員	<p>小規模小学校の統合後も、これまで上高根沢小学校で実践されていた小規模校ならではの特色ある学習内容のメリットを残して活かして行ってほしい。</p>
坂本教育長	<p>仮に、小規模特認校制度がなくなっても、その代わりに、少人数指導を充実させるための教員の加配や町非常勤職員の増員、指定校変更基準を弾力化して「より小規模の学校への転校希望を認める」などの対応策を検討していきたい。</p>
中野委員	<p>全国的な統廃合の流れは当然だが、もう1つの流れとして「小さな学校」が脚光を浴びていて、小規模な学校づくりがトレンドになっていくと考えている。統廃合を進める中で、小さな学校も残していくという動きがある。上高根沢小学校の小規模特認校としての特色ある学校づくり、学習・活動内容は素晴らしく、もっとアピールしていくべきと考えていたので、統合対象となった場合にはとても残念だと感じる。高根沢ならではの、高根沢町に移住してきたくような教育内容・学校づくりを目指す方向性があってもいいのでは。学校での授業に、地域の中にある様々な先生をどんどん活用していくプログラムがあれば。地域の力で小規模の学校を作っていこうというやり方もあると思う。</p>
野中委員	<p>学校運営協議会の仕組みを形骸化させずに、地域の力を活用できるように活性化できるとよい。</p>
坂本教育長	<p>続きまして、学校以外の施設（フリースペースひよこの家、学校給食センター）について、ご意見等を伺います。</p>
中野委員	<p>文部科学省が本年3月にまとめた不登校対策「COCOLOプラン」の中で、新たに「不登校特例校」を全国で300校作るとしている。統廃合によって残った学校を活用して、この「不登校特例校」を設置することを検討してはどうか。そのような方向性を持ってもいいのではないかと考えている。</p>
坂本教育長	<p>続きまして、社会教育施設の検討状況について、生涯学習課から説明をお願いします。</p>
片野課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月17日に開催した高根沢町社会教育員会並びに高根沢町公民館運営審議会において、新庁舎整備に伴う公共施設の複合化等について意見を聴取した結果、町民広場内の相撲場のみの廃止の意見があった。

議 事 の 経 過

坂本教育長	事務局からの説明が終わりました。社会教育施設の存続、集約、廃止などについて、委員の皆様からのご意見等を伺ってまいります。まず、新庁舎整備検討の中で検討していく「町民ホールとトレセン」について、また町民文化系施設である「タウンセンター、コミュニティセンター等」についてはいかがでしょうか。
野中委員	町民ホールとトレセンは町の基幹施設であって必要不可欠な施設である。
齋藤委員	新庁舎整備と合わせて、町民ホールやトレセンの再整備を同時に進めていくのは財政的にも負担が大きいのではないかと感じるころではあるが、例えば、役場庁舎を新しくした他市町の事例の中では、ホール機能を役場庁舎に入れて至便性を高め、ステージや椅子を可動式として様々な形態に対応できるようにするなど、フラットなスペースでも 1,000 人以上のキャパを確保している事例などもある。一方、トレセンについては、高さなど空間的な制約から、役場庁舎に入れるのは難しいかもしれない。新庁舎整備を検討する上では、あらかじめ役場庁舎にホール機能などの様々な機能を加えることを検討してほしい。
佐藤委員	他市町でも、役場庁舎とホールや会館などが近くに集約されて整備されていることが多いと思うので、駐車場の問題などからしても、集約して立地させることが良いと思う。
野中委員	宝積寺タウンセンターの利用率ほどの程度か。
赤羽課長補佐	令和 4 年度は、使用回数 1,232 回、使用人数 13,540 人となっており、コロナ禍以前の令和元年度と比較して大きな減少はありません。
坂本教育長	続きまして、社会教育系施設のうち、図書館と、歴史民俗資料館について伺います。
齋藤委員	ゆくゆくは学校が地域における図書館などの機能を果たす拠点施設となっていくような「まちづくり」があってもいいのでは。
佐藤委員	図書館 3 館を集約して整備する可能性もあるのであれば、新たに整備する際には、例えばレストランを入れるなど、交流の場となるような、長時間滞在できるような、更に魅力的な複合的施設を検討してほしい。
野中委員	現在の図書館 3 館体制は非常に素晴らしく、身近なところに図書館があって本の貸し借りが便利な現在の環境を維持してほしい。
野中委員	歴史民俗資料館は、町の歴史を伝える非常に大事な施設なので、移転も含めて存続を検討していくべきと思う。
齋藤委員	現在の長屋門や全体のスケールを残さなくても、展示室・展示ルームなどで機能を代替できるのであれば、建物を残すことにこだわらないという考えもあると思う。
佐藤委員	希望としては、町に美術館を作ってほしいというのが私の願いなので、資料館と

議 事 の 経 過

	美術館と図書館が一緒になった複合的施設にしてほしいと思う。
坂本教育長	続きまして、スポーツ・レクリエーション系施設について伺います。
齋藤委員	最近、身近では弓道が話題になっているように感じるが、弓道場の使用は増えているのか。使用頻度が高いのであれば残していくべきだと思う。
赤羽課長補佐	週3回の弓道教室が開かれていて、弓道部の部員が30人程度おり、延べ560人程度が練習しています。令和4年度は、使用人数1,716人、使用回数242回となっていて使用頻度は高く、令和元年度と同じ程度です。
中野委員	相撲場は、どのぐらい使われていないのか。
片野課長	以前あった相撲部がいつから活動していないかが定かではないのですが、20～30年程度は使われていないと思います。
野中委員	仁井田体育館、武道館、麒麟体育館の利用率はどれくらいあるのか。
赤羽課長補佐	仁井田体育館は指定管理である等のため本日資料が手元にありません。武道館は、柔道・剣道・居合などで使用されています。令和4年度は、使用回数428回、使用人数10,090人となっており、令和元年度よりも増えています。麒麟体育館については、トレセンがワクチン接種会場で使用されていたことによる代替会場としての使用が多かったため、正確な使用頻度の把握が難しいところがありますが、令和4年度は約2万人の利用があります。
齋藤委員	老朽化または耐久年数を過ぎた建物については、安全の確保の観点から廃止を判断すべき場合も出てくると思う。
坂本教育長	続きまして、児童福祉施設の検討状況について、こどもみらい課から説明をお願いします。
田中課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内で建築後20年以上経過する保育施設等は、公立保育園2園のみ。いずれも、職員や入園希望者が減少している状況。 ・学童保育所について、指定管理委託をしている。定員を超えて預かりを実施しているため、クラブ室内は、密な状況となっている。 ・児童福祉施設の在り方については、令和6年度に実施する子ども・子育て会議内において検討協議を進めていく。
坂本教育長	<p>事務局からの説明が終わりました。児童福祉施設については、令和6年度に、子ども・子育て会議において検討協議を進め、第三期子ども子育て支援事業計画を策定していくことから、その検討内容・検討結果を委員の皆様にご報告して、あらためて意見等を伺っていく予定です。</p> <p>それでは、本日いただいた意見を事務局でとりまとめ、教育委員会の意見として、第2回総合教育会議の協議資料として提示させていただきます。貴重なご意見</p>

議 事 の 経 過

	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、その他①令和5年度とちぎっ子学習状況調査及び全国学力・学習状況調査における高根沢町の結果についてですが、非公開としてよろしいか諮ります。</p>
委 員	(異議なし)
坂本教育長	異議なしのため、その他①について非公開とします。
平山指導主事	(非公開) その他①令和5年度とちぎっ子学習状況調査及び全国学力・学習状況調査における高根沢町の結果について
坂本教育長	非公開を解除します。 本日予定していた議題は以上となります。次回の教育委員会は令和5年9月20日(水)総合教育会議終了後からの開催を予定しています。 以上をもって、教育委員会を閉会します。

教育委員会会議規則第20条の規定により、署名する。

令和5年8月23日

教育委員会委員